

県病ふれあいコンサート
弘前大学医学部管弦楽団
初夏の県病コンサート

平成 26 年 6 月 28 日(土) 3pm～

青森県立中央病院 外来ホール

出演：弘前大学医学部管弦楽団

フルートと指揮：馬場正之（県病医療顧問）



プログラム

1. 滝廉太郎：花
2. ヴィヴァルディ：フルート協奏曲ニ長調 RV429
3. 早川正昭：バロック風「日本の四季」より「夏」
（「我は海の子」「雨が降る」「海」による）
4. モーツァルト：交響曲 第 10 番 ト長調 Kv74

弘前大学医学部管弦楽団

弘大医学部創立 50 周年 の 1994 年に弘大医学部学生と教職員によって結成された室内オーケストラ。50 周年記念式典でのバッハ第 2 管弦楽組曲(ソロ・フルート:馬場正之、コンサートマスター:新川秀一)などの学内有志による祝賀演奏が関係者に感銘を与えたことから、歴代医学部長の支援のもとに 95 年から医学部内の常設団体として活動を開始。教養部で古典音楽演奏論を講じていたバロックフルート奏者馬場正之神経内科助教授(当時)を指揮者とし、時代背景を重視したオーセンティックな演奏スタイルを目指す。毎週水曜夕方医学部コミュニケーションセンターで練習を重ね、弘大附属病院での四季折々のコンサート、医学部関連行事や当地開催の種々の医学学会での演奏など毎年数~10 数回の演奏活動を続ける。これまで取り上げた主な曲は、ブランデンブルク協奏曲、管弦楽組曲、チェンバロ協奏曲、ヴァイオリン協奏曲、フーガの技法などのバッハ作品多数、モーツァルトやハイドンのセレナードや初期~中期交響曲、ヘンデル、ヴィヴァルディ、コレルリ、テレマン、パーセル、パッヘルベル、ラモーなど、バロック~古典の管弦楽曲やコンチェルトなど。

馬場正之 フルート/指揮

多田逸郎氏、吉田雅夫氏らにフルートとリコーダーの手ほどきを受け、70 年より弘前室内楽集団のフルート兼リコーダー奏者として活動。79 年ロンドン大学神経研究所赴任と同時にロンドン市ギルドホール芸大で N.ハッデン、P.ピケット各氏にバロック・リコーダーを、J.ソラム氏にフラウト・トラヴェルソ(バロック・フルート)を、W.バーグマン、J.ホロウェイ各氏に古典室内楽を師事。J-P ランパル、A ニコレ、F.ブリュッヘン各氏のマスタークラスを受講。83 年帰国し弘大医学部で神経内科を担当、弘大教養部で音楽科今井民子教授(バロックヴァイオリン)と古楽演奏論の講座を担当。85 年より島口和子氏主宰の弘前バッハアンサンブルに参加しバッハカンタータの連続演奏でフルート・リコーダーソロを担当、紀尾井ホールでの演奏が「懐の深いフルート」(「音楽の友」誌)と評されたほか、ウィーン楽友教会大ホール、フランクフルト精霊教会、パリ聖ユスタシュ教会、ニューヨーク・カーネギーホールなど欧米十数都市で短調ミサ曲やマニフィカートなどのフルートソロなどを担当。また 95 年からは弘大医学部管弦楽団を率い毎週の練習と 100 回を超えるコンサートを指揮。2007 年青森県立中央病院神経内科部長、14 年度より同常勤医療顧問。